

# 令和5年度和名ヶ谷中学校 2学期学習の指針（シラバス）

教科	社会
----	----

学年	1年
----	----

## 1 学習の目的

<p>◆世界の諸地域について、各州（アジア州、ヨーロッパ州、アフリカ州、北アメリカ州、南アメリカ州、オセアニア州）の地域的特色を理解するとともに、そこから見えてくる課題について多様な視点から主体的に追及する。</p> <p>◆世界の古代文明や、古代までの日本の特色について理解するとともに、社会の変化の様子や課題について多様な視点から主体的に追及する。</p>
--

## 2 学習計画

	学習内容	学習のねらい
2 学 期	(地理的分野) 2章 世界の諸地域 1節 アジア州 2節 ヨーロッパ州 3節 アフリカ州 4節 北アメリカ州 5節 南アメリカ州 6節 オセアニア州	・世界の諸地域の人々の生活・文化の特徴を理解するとともに、自らの考えをまとめる。
	(歴史的分野) 1章 歴史へのとびら	・年代の表し方や時代区分を理解する。
	2章 古代までの日本 1節 世界の古代文明と宗教のおこり	・世界の古代文明や宗教のおこりについて理解するとともに、それらの事象が古代の社会にどのような変化をあたえたのか多様な視点から考察し、追及する。
	2節 日本列島の誕生と大陸との交流 3節 古代国家の歩みと東アジア世界	・日本列島における農耕文化の発展や東アジアとの交流などについて理解するとともに、国家が形成していく様子について多様な視点から考察し、追及する。 ・律令国家の形成や古代の文化と東アジアの関わりについて理解するとともに、そこから見えてくる課題について多様な視点から主体的に追及する。

### 3 評価規準、評価材料

	評価規準	評価材料
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業中に出てきた重要語句の意味を理解している。</li> <li>・写真や統計資料などの読み取りを通して、様々な社会的な事象をその根拠を基に解答することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期テスト</li> <li>・単元末テスト</li> <li>・小テスト</li> </ul>
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>・世界の諸地域において、特色に着目して他の事象やそこで生ずる課題と有機的に関連付けて多面的・多角的に表現している。</li> <li>・世界の古代文明や、古代までの日本を大観し、時代の特色を多面的・多角的に表現している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期テスト</li> <li>・単元末テスト</li> <li>・ワークシート（ファイル）</li> <li>・単元ごとの課題</li> </ul>
学びに向かう姿勢	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自主学習ノートに主体的かつ計画的に取り組んでいる。</li> <li>・日々の学習の中で「わかったこと」「考えたこと」</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業への参加態度</li> <li>・ワークシート（ファイル）</li> </ul>

	「調べてみたいこと」を毎授業まとめ、特に「調べてみたいこと」について自ら調べ学習を実践している。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自主学習ノートへの取り組み</li> <li>・調べてみたことレポート</li> </ul>
--	--	--

#### 4 使用する副読本

題名	出版社
学習整理 1 (地理・歴史)	学宝社

# 令和5年度和名ヶ谷中学校 2学期学習の指針（シラバス）

教科	社会
----	----

学年	2年
----	----

## 1 学習の目的

- ◆地理分野においては、日本の諸地域について地域的特色を捉えるために、人口や産業、交通や通信などさまざまな視点から考察する。
- ◆歴史分野においては、近世の日本を大観して時代の特色を多面的・多角的に考察する。
- ◆よりよい社会の実現を視野にここで見られる課題を主体的に追及。解決しようとする態度を身につける。

## 2 学習計画

	学習内容	学習のねらい
2 学 期	地理的分野	・幾つかに区分した日本のそれぞれの地域について、その地域的特色や地域の課題を理解する。 ・日本の諸地域において、それぞれ①自然環境，②人口や都市・村落，③産業，④交通や通信，⑤その他の事象までで扱う中核となる事象の成立条件を，地域の広がりや地域内の結び付き，人々の対応などに着目し，他の事象やここで生ずる課題と有機的に関連付けて多面的・多角的に考察，表現する。 ・よりよい社会の実現を視野にここで見られる課題を主体的に追究
	3章 日本の諸地域	
	4節 中部地方	
	5節 関東地方	
	6節 東北地方	

	7 節 北海道地方	する。
歴史的分野		
4 章 近世の日本		・江戸幕府の成立と大名統制，身分制と農村の様子，鎖国などの幕府の対外政策と対外関係などを基に，幕府と藩による支配が確立したことを理解する。
2 節 江戸幕府の成立と対外政策		
3 節 産業の発達と幕府政治の動き		・社会の変動や欧米諸国の接近，幕府の政治改革，新しい学問・思想の動きなどを基に，幕府の政治が次第に行き詰まりを見せたことを理解する。
5 章 開国の近代日本の歩み		・近世の日本について，そこで見られる課題を主体的に追究，解決しようとする態度を身につける。
1 節 欧米における近代化の発展		・近代の欧米諸国の政治の特色と発展の理由について理解し，考察する。

### 3 評価規準、評価材料

	評価規準	評価材料
--	------	------

知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業中に出てきた重要語句の意味を理解している。</li> <li>・写真や統計資料などの読み取りを通して、様々な社会的な事象をその根拠を基に解答することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期テスト</li> <li>・単元末テスト</li> <li>・小テスト</li> </ul>
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本の諸地域におけるそれぞれ①自然環境、②人口や都市・村落、③産業、④交通や通信、⑤その他の事象について、地域の広がりや地域内の結び付き、人々の対応などに着目して、そこから見えてくる課題について多面的・多角的に考察し、表現している。</li> <li>・江戸幕府の成立や幕府政治の展開、諸産業の発達と町人文化について、多面的・多角的に考察し、表現している。</li> <li>・欧米における近代社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期テスト</li> <li>・単元末テスト</li> <li>・ワークシートの記述</li> <li>・単元ごとの課題</li> </ul>
学びに向かう姿勢	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自主学習ノートに主体的かつ計画的に取り組んでいる。</li> <li>・日々の学習の中で「わかったこと」「考えたこと」「調べてみたいこと」を毎授業まとめ、特に「調べてみたいこと」について自ら調べ学習を実践している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業への参加態度</li> <li>・ワークシートの記述</li> <li>・授業の振り返り</li> <li>・自主学習ノートへの取り組み</li> </ul>

#### 4 使用する副読本

題名	出版社
学習整理 2 (地理)	学宝社
学習整理 2 (歴史)	学宝社

# 令和5年度和名ヶ谷中学校 2学期学習の指針（シラバス）

教科	社会
----	----

学年	3年
----	----

## 1 学習の目的

- ◆社会的な出来事の意味や意義を現代の社会生活と関連付けて様々な視点から考察する力を養う。
- ◆民主政治と政治参加について、3年後には選挙権を得る視点から現代社会のニュースやトピックなどを通じて、自分の考えをまとめる力や考えを共有する表現力の向上を目指す。
- ◆現在、社会にあふれている様々な情報の中から、現代の社会的な出来事に関する情報を効果的に調べまとめる技能を高める。

## 2 学習計画

	学習内容	学習のねらい
2 学 期	公民的分野 1章 現代社会の特色と私たち 1節 現代社会とわたしたちの生活	・自分たちが生きる現代社会を概観する。グローバル化、情報化、少子高齢化が見られることを理解する。日本の伝統と文化を学び、伝統的な文化を継承し、新しい文化を創造する。 ・社会生活における物事の決定の仕方などについて学ぶ。

<p>2 節 わたしたち の生活と文 化</p> <p>3 節 現代社会の 見方や考え 方</p> <p>2 章 個人の尊重と 日本国憲法</p> <p>1 節 人権と 日本国憲法</p> <p>2 節 人権と 共生社会</p> <p>3 節 これからの 人権保障</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大日本帝国憲法と日本国憲法の比較を通して、日本国憲法の三つの基本原理を理解する。</li> <li>・差別をなくすためにどのような努力がされてきたのか、個人の尊重の観点から適切に表現する。</li> <li>・自由権や社会権とはどのような権利であるか、それぞれ関連する写真や資料の読み取りを通して理解する。</li> <li>・情報化の進展に伴ってどのような課題が生まれ、どのような権利が認められてきたのか、自分の考えをまとめ共有する。</li> </ul>
<p>3 章 現代の民主 政治と社会</p> <p>1 節 現代の 民主政治</p> <p>2 節 国の政治の</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・選挙が果たしている役割について、民主主義に着目して考察し、表現する。</li> <li>・選挙の投票率を上げるためにはどうしたらよいか、私たちができる政治参加の方法に着目して考えをまとめ共有する。</li> <li>・立法、行政、司法のそれぞれの役割を理解し、日本における三権</li> </ul>



	<p>しくみ</p> <p>3節 地方自治と 私たち</p>	<p>の相互関係について、三権分立が採用されている理由を考察する。</p> <p>・自分が住む地方公共団体の課題を調べ、解決のために自分のできることを考察、構想し、表現する。</p>
	<p>4章 私たちの 暮らしと経済</p> <p>1節 消費生活と 市場経済</p> <p>2節 生産と労働</p> <p>3節 市場経済の 仕組みと金融</p> <p>4節 財政と 国民の福祉</p> <p>5節 これからの 経済と社会</p>	<p>・私たちの身近な消費生活を題材にして、経済との関わりについて理解する。</p> <p>・様々な契約の事例や決済方法を知ることを通して、よりよい消費生活を目指す意識を持つ。</p> <p>・様々な企業形態の中でも特に株式会社に着目し、その仕組みについて理解する。</p> <p>・景気の変動に対して、どのような取り組みがなされているのか、日本銀行の金融政策と景気を関連付けて考察し表現する。</p> <p>・持続可能な社会を創るために、経済はどのような役割を果たすべきか、豊かさに着目して様々な角度から考察、構想し議論を行う。</p>

### 3 評価規準、評価材料

	評価規準	評価材料
知識・技能	<p>・授業中に出てきた重要語句や教科書の太字部分の意味を理解している。</p>	<p>・定期テスト</p> <p>・小テストなど</p>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・写真や統計資料などの読み取りを通して、様々な社会的な事象をその根拠を基に解答することができる。</li> </ul>	
<p>思考・判断・表現</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業や調べ学習を通して得た知識を自分なりにかみ砕いてわかりやすく相手に説明している。</li> <li>・社会的な出来事に対して、自分の考えを持つことに加え、共有の時間を活用し様々な意見に触れることでより良い社会を実現するために何が必要なかを判断しまとめている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期テスト</li> <li>・小テストなど</li> <li>・ワークシート（ファイル）</li> <li>・グループワーク</li> <li>・プレゼンテーション</li> </ul>
<p>学びに向かう姿勢</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日々の学習の中で「わかったこと」「考えたこと」「調べてみたいこと」を毎授業まとめ、特に「調べてみたいこと」について自ら書籍やインターネットなどを利用し、教養を深めようとしている。</li> <li>・ワークシートの穴埋めを行うだけでなく、教員が話をした内容や他者との意見交換の際に、新しく得た知識や考えを適宜メモとして残すなど意欲的に授業に参加しようとしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業に対する意欲</li> <li>・調べてみたことレポート</li> <li>・ワークシート（ファイル）</li> <li>・公民のワーク</li> </ul>

#### 4 使用する副読本

題名	出版社
----	-----

学習整理 公民

学宝社